

報道関係者各位

～生誕 25 周年の今年、“最も成功した業務用ゲーム機”に認定～  
**業務用ビデオゲーム機「パックマン」がギネスブック入り**

株式会社 ナムコ  
社 長：石村 繁一  
本 社：東京都大田区矢口 2-1-21  
資 本 金：27,369,117,031円

株式会社ナムコが 1980 年に発売した業務用ゲーム機「パックマン」が、“最も成功した業務用ゲーム機 (Most successful coin operated game)”としてギネス・ワールド・レコード社より認定を受けました。「パックマン」は、業務用ビデオゲーム機として 1980 年から 1987 年の約 7 年間にわたって、293,822 台を販売 (ロイヤリティを含む)。この驚異的な販売台数が、業務用ゲーム機分野で世界一であると正式に認められました。2005 年秋発売の「ギネス・ワールド・レコーズ (Guinness World Records) 2006 年度版」から掲載されます。



また、「パックマン」は 2005 年 5 月 22 日で生誕 25 周年を迎えます。「パックマン」の人気の高い米国では、これを記念して今夏にプレイステーション 2、Xbox、ニンテンドーゲームキューブ、プレイステーションポータブルの 4 機種向けに「パックマンワールド 3」を発売する予定です。

#### ■「パックマン」とは

1980 年 5 月のロケーションテスト (店舗における発売前のテスト設置) を経て、同年 7 月に正式に発売した業務用ビデオゲームです。ステージにちりばめられたクッキーをゴーストの追跡をかわしながら食べ尽くせばステージクリアとなるこのゲームは、パクパクと食べる愛らしいアクションと電子音に、当時としては珍しい個性派キャラクター。そして何よりも、パワークッキーを食べれば、立場が一転してゴーストを捕まえることが出来るという一発逆転のゲーム性により、多くのお客様から支持を得ることができました。

また、1980 年 10 月には海を渡り米国に進出。その人気は日本国内をはるかに上回り、ゲームの枠を超え、アニメ化、CD 化、キャラクターグッズといった 400 種類以上ものライセンス商品が発売されるなど、エポックメイキングな作品として扱われました。その後もワールドワイドで様々な形でシリーズ化され、業務用ゲームのほかにも家庭用ゲーム機や携帯電話用ゲームなどにも移植。その人気は、「パックマン」生誕から 25 年経った今でも続いています。

#### ■「パックマン」企画者 岩谷徹コメント

権威あるギネスブックに記録として残ること、大変喜ばしいと思うとともに、プレイして下さった世界の人たちに感謝したいと思います。コンセプトは「女性」をターゲットに、「食べる」という動詞をキーワードに企画しました。丸いピザの一片を取って、パックマンキャラクターを思いつきました。また、開発や販売などに携わった多くの皆さんのおかげで製品になったと思っております。この場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

今後もナムコではエンターテインメント企業として、各種のオリジナル・エンターテインメントコンテンツを開発し、エポックメイキングとなる新しい遊びの世界を提案します。

※プレスリリースの情報は、発表日現在のものです。発表後予告なしに内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。  
※記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

以上